

平成25年度

事業実績報告

社会福祉法人 敬仁会

目 次

1. 平成 25 年度を振り返って	3 P
2. 主な実施事業	3 P
3. 法人の運営	5 P
1) 理事会、評議員会の開催（開催日、議案）	
2) 経営会議、施設長会	
3) 各種委員会	
4. 教育研修の取り組み	6 P
1) 法人教育研修委員会について	
2) その他の取り組み	
5. リスクマネジメントへの取り組み	13 P
1) 福祉サービス苦情解決委員会	
2) 事故・ヒヤリハット件数	
6. 職員の状況	14 P
1) 採用・退職の状況	
2) 表彰受賞者一覧	
3) 外部役職就任状況	
7. 地域貢献活動	16 P
1) ボランティア受け入れ	
2) 利用者負担減免実績等	
3) 市町村委託事業関係	
4) その他の取り組み	
8. 実地指導・監査等状況報告	26 P
9. 決算報告	26 P

1. 平成25年度を振り返って

平成25年度における我が国の経済情勢は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略「三本の矢」による一体的な取組みの下、個人消費などの支出増加が生産増加につながり、それが雇用・所得の増加をもたらすという実体経済の好循環の動きが始まりつつありました。今後についても、所得環境が改善し、着実な需要の発現と雇用創出が見込まれ、個人消費の緩やかな増加、企業収益の改善、設備投資の回復など、民需主導の景気回復が進む事が予測されています。

このような経済情勢の中、当法人の運営状況は、当初見込んでいた予算収入は不達成ではあったものの、前年対比では収入増となり、概ね安定的な経営を図る事ができました。また、保有する資金の使用計画を見直し、長期借入金の繰上返済を行う事で財務体質の強化にも取り組んでおります。

ハード面の整備については、ル・ソラリオン綾瀬（仮称）建設工事の着手に至りました。都内3か所目となる施設であり、特養・保育所の合築施設となる当該施設は近隣住民からも高い期待の声が寄せられています。また、グループホーム琴浦を開設し、障がい者の方の地域生活の場を新たに創出することができました。

ソフト面の整備については、平成24年4月より施行した新人事制度の追加見直しを行い、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の観点より、働き方の選択が可能となる制度へ改定、職員の定着率・労働意欲を高め、より働きやすい職場環境の構築を目指したいと思います。

その他、SON（スペシャルオリンピックス日本）鳥取設立準備委員会への活動参加、介護職員等による喀痰吸引研修事業、認知症介護実践者研修等委託業務の受託による地域福祉人材の育成等、地域福祉の向上に寄与できたものと考えます。

このように、平成25年度においても様々な取組みを実施しました。これもひとえに地域の方々のご理解・ご協力のたまものと深く感謝しております。今後も地域の福祉ニーズに応え続け続けるため、安定的な事業運営及び地域貢献に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 敬仁会
理事長 藤井 啓子

2. 主な実施事業

① ル・ソラリオン綾瀬 建設工事着工

東京都内3か所目となる特別養護老人ホーム及び保育所の施設整備工事に着手。平成27年1月30日の完成を目指す。平成25年度の出来高は当初予定10%を上回る14.2%に至り、順調な進捗状況であった。

② グループホーム琴浦開設

平成25年度に施設整備に着手し、平成26年4月1日、当該事業を開設した。琴浦町に障がい者の地域生活の場を提供し、東伯郡中西部（北栄町、琴浦町）から西伯郡の一部（大山町）をエリアと

した、地域の障がい者福祉の向上に寄与した。

③ SON（スペシャルオリンピックス日本）鳥取設立準備委員会活動参加

知的障がい者にスポーツを通じ社会参加を応援するSON鳥取設立準備委員会に参画し、県中部での活動を展開した。敬仁会としては、ゆりはま大平園体育館を活動拠点として提供し、卓球プログラムに於いて法人内職員のコーチ就任や支援ボランティア等、障がいを持つアスリートの自立や障がい者の社会参加促進に貢献した。

尚、中部圏域の取組により鳥取県全域（東部・中部・西部）の活動が評価され、平成26年4月10日SON鳥取設立準備委員会が正式にSON鳥取地区組織として認証され、現在も活動展開中である。

④ 山根地区アクセス道路工事の完成

社会医療法人仁厚会との共同工事にて、山根地区における敬仁会施設と、藤井政雄記念病院・倉吉病院間のアクセス道路を整備した。良好なアクセスの確保により、ご利用者の迅速な通院、職員通勤車両の安全な通行等、両法人の円滑な連携が図られた。

⑤ 人事制度見直しの実施

平成24年4月より施行した新人事制度の追加見直しを行い、ワークライフバランスの観点から「正職員の中に複数の就労形態を設け、その時々家庭事情等により就労形態を選択できる」制度へ改定を行った。この改定により、職員定着率・労働意欲の向上を目指す。また、東京施設においては看護・介護職等の初任給見直し、年間労働日数の変更を実施。都内で難航する福祉人材の確保に対応した。

⑥ 介護職員等による喀痰吸引等研修事業の実施

平成23年度に鳥取県より受託した介護職員による喀痰吸引等実施のための研修事業を、平成24年度、平成25年度も継続して受託。また、県委託以外にも法人が実施主体となり同研修を年2回実施。今年度の受講者は総勢168名あり、敬仁会では83名の修了者を育成した。当法人のみならず、県下福祉施設における安心・安全なサービス提供の向上において、その一端を担った。

⑦ 認知症介護実践者研修等委託業務の受託

前年度に続き、平成25年度も認知症介護実践者研修等委託業務を受託。喀痰吸引等実施のための研修事業と同様、当法人職員のレベルアップも去ることながら、県内介護従事者の質の向上に貢献した。

平成25年度においても、施設整備、人事制度改定、各研修事業等、様々な取組により着実に法人の発展を進める事ができた。今後、更にそれらのハード・ソフトを有効活用し、良質なサービス提供に繋げるためには、法人として常に外部情報の吸収や外部指摘に対する組織的な改善等に努め、様々な社会情勢に対して敏感に対応していく姿勢が必要と考える。

社会福祉法人としての使命をはたすため、堅実で安定的な事業展開を引続き進めていき、強固な組織作りを行なっていきたい。

3. 法人の運営

1) 理事会、評議員会の開催（開催日、議案）

	区分	開催通知 施行年月日	開催年月日	出席者 数 /定数 (現員)	出席者 中の書 面表決 者氏名	議 題
平成 25 年度	理 事 会	H25. 5. 13	H25. 5. 27	8／8	－	第1号 第55期（平成24年度）事業報告及び決算について 第2号 平成25年度第一次補正予算（案）について 第3号 評議員の選任について 第4号 定款の変更について 第5号 諸規程の改正について 第6号 グループホーム琴浦（仮称）施設整備事業 設計管理業者及び施工業者の選定について 報告事項1 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）について 報告事項2 補助事業・入札案件の報告について 報告事項3 外部監査の実施について 報告事項4 認知症介護実践者研修等に係る業務の受託について
		H25. 6. 27	H25. 7. 10	7／8	－	第1号 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）整備事業について
		H25. 8. 20	H25. 9. 4	9／9	－	第1号 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）整備事業について 第2号 高額工事業者選定について
		H25. 8. 29	H25. 9. 12	8／9	－	第1号 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）施設整備事業について 第2号 諸規程の改正について 第3号 高額工事施工にかかる業者選定について 報告事項 グループホーム琴浦（仮称）整備事業について
		H25. 12. 5	H25. 12. 19	8／9	－	第1号 平成26年度施設整備事業について 第2号 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）施設整備事業について 第3号 グループホーム琴浦（仮称）施設整備事業について 第4号 敬仁会苦情解決委員会第三者委員の選任について 第5号 高額工事実施にかかる業者選定について 報告事項1 入札結果について 報告事項2 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）施設整備事業の進捗状況について 報告事項3 グループホーム琴浦（仮称）施設整備事業の進捗状況について
		H26. 3. 13	H26. 3. 27	9／9	－	第1号 第57期（平成26年度）事業計画及び予算（案）について 第2号 平成25年度補正予算（案）について 第3号 定款変更について 第4号 評議員の選任について 第5号 施設長等の選任について 第6号 新規事業について 第7号 年度末期末手当の支給について 第8号 諸規程の改正について 第9号 高額物品・工事について 報告事項1 山根地区アクセス道路について 報告事項2 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）について 報告事項3 ル・ソラリオン名和車両購入について
	評 議 員 会	H25. 5. 13	H25. 5. 27	12／17	－	第1号 第55期（平成24年度）事業報告及び決算について 第2号 平成25年度第一次補正予算（案）について 第3号 理事の選任について 第4号 定款の変更について 第5号 諸規程の改正について 第6号 グループホーム琴浦（仮称）施設整備事業 設計管理業者及び施工業者の選定について 報告事項1 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）について 報告事項2 補助事業・入札案件の報告について 報告事項3 外部監査の実施について 報告事項4 認知症介護実践者研修等に係る業務の受託について
		H26. 3. 13	H26. 3. 27	14／19	－	第1号 第57期（平成26年度）事業計画及び予算（案）について 第2号 平成25年度補正予算（案）について 第3号 定款変更について 第4号 理事・監事の選任について 第5号 施設長等の選任について 第6号 新規事業について 第7号 年度末期末手当の支給について 第8号 諸規程の改正について 第9号 高額物品・工事について 報告事項1 山根地区アクセス道路について 報告事項2 ル・ソラリオン綾瀬（仮称）施設整備事業について 報告事項3 ル・ソラリオン名和車両購入について

2) 経営会議、施設長会

- ・経営会議（毎週月曜実施）
- ・施設長会（毎月下旬実施）

3) 各種委員会

① リスクマネジメント委員会（随時実施）

- ・安全衛生部会
- ・災害対策部会
- ・安全運転管理部会
- ・事故防止対策部会
- ・法令遵守部会

② 教育研修委員会（随時開催）

③ ISO 各種部会（随時実施）

介護部門	介護部会
	看護部会
	リハ部会
	相談部会
	通所部会
	ケアハウス部会
	訪問介護部会
	グループホーム部会
	居学部会
	管理栄養部会
障害部門	入所部会
	就労部会
	在宅部会
事務部門	事務部会

④福祉サービス苦情解決委員会（年2回実施 6月、11月） ※ P13 参照

4. 教育研修の取り組み（法人教育研修委員会）

1) 法人教育研修委員会について

社会福祉法人敬仁会が実施する福祉サービスの質の向上と地域社会におけるサービスの提供拠点としての充実を目指す上で、以下の点を人材育成における基本理念とし、法人に所属する全職員を対象とし

た教育研修の企画・実施・評価を行い、敬仁会職員の人材育成を目指します。

① 人材育成の基本理念

- ・対人援助サービスの担い手として「専門性」「職業倫理」の確立並びにその資質向上。
- ・職場・地域社会におけるサービス提供組織の一員としての「組織性」及び「社会人としての意識」の確立並びにその資質向上。
- ・「求められる人材育成」及び「職務意識向上」のため、教育研修システムの充実を図る。

② 法人が求める職員像

- ・常に専門職として問題意識をもち、職務にあたる人材。
- ・自らに課せられた課題を自主的に整理・解決しながら職務にあたる人材。
- ・「専門性」に対し精神面・技術面等の向上に意欲的に取り組む姿勢をもつ人材。
- ・チームケアの精神をもち、組織の一員としての役割を理解し職務にあたる人材。
- ・法人内にとどまらず、地域社会など広域的な福祉分野の組織的活動に対し、意欲的・協力的に活動できる人材。
- ・敬仁会「職務基準書」「行動評価表」に準じた人材。
 - チームで仕事ができる人
 - スキルアップを目指した向上心のある人
 - 相手の気持ちを大切にできる人

③ 委員会の方針

- ・法人内各施設の情報共有を図り、法人全体としてレベルアップを図る。
- ・法人研修と施設内研修・施設外研修の連動を念頭におき、研修効果が職員個々の実務に反映されることを目指す。
- ・社会医療法人仁厚会との連携を図る。
- ・次世代後継者育成に向けた研修システムを充実させるとともに、研修の効率化を図る。

④ 平成 25 年度方針

- ◆ 新人事制度導入による人材育成
 - ・管理職・係長・主任・リーダーの育成
 - ・面接技術のスキルアップ（ストレスマネジメント含む）
- ◆ 研修システムの再構築
 - ・新人事制度とリンクした研修システムの構築
 - ・リスクマネジメント委員会・ISO部会等と連携した研修の開催
 - ・研修履歴管理システムの導入による職員管理

⑤ 平成 25 年度 研修実績

月	日	研修名	対象職種	研修内容	参加者数
4	21	人事制度説明会	主任以上新任者	人事制度、目標設定・面接について	4
5	1	新人職員 D-1	H24.11.2～H25.3.20 採用 H25 定期採用前研修未受講者	法人理念と沿革、福祉施設従事者としての基本、 敬仁会就業規則、ISO マニュアル	27
6	24	主任研修	主任	・主任としての役割 ・職場の現状について情報共有し、職場の課題を 考える	26
7	1	介護スキル 基礎研修	介護福祉士資格者で伝達研修 が可能な職員	介護技術の基本・ポイントを習得し、指導を行う能力 を身につける。	15
5	14	次課長研修会	次課長	・次課長の役割 ・職場の現状について情報共有し、職場の課題を 考える	41
5	22	新人研修 A-2	H25 年度定期採用者	・職員ディスカッション ・コミュニケーションスキル	18
6	5	認知症ケア研修	・県認知症介護実践リーダー研 修修了者 ・リーダーレベルで施設が推薦 する者	・法人の認知症ケアの現状を振り返る ・事例検討の活用 ・施設内事例検討の企画・立案	16
6	7	ISO 研修会	2 等級・3 等級職員	・講義「品質マネジメントシステムの理解」 ・演習「身近で活用しているQMSを振り返る」	30
6	18 20	前期初級クラス 研修	平成 24 年度 新人研修参加者	ISO の理解、リスクの理解、問題解決	64
7	2	新人職員 B-1	H25.3.22～H25.6 採用者	法人理念と沿革、福祉施設従事者としての基本、 敬仁会就業規則、ISO マニュアル、報告・連絡・相 談(DVD)就業規則	18
7	3 4	新人研修 A-2 (東京)	H25 年度定期採用者	・職員ディスカッション ・コミュニケーションスキル	26
7	18	経営研修会	役職者 施設事務員	・適正な施設運営の理解 ・法人決算状況報告	110
7	24	係長研修	係長	係長の役割	37
8	8	中堅職員研修	採用 8.9 年目職員	敬仁会職員としての中堅職員(25 年度の 8・9 年目 職員)に求められる姿を理解する。職場で求められる 職員像について評価基準をもとに理解し、実践 につなげる。	25
8	21	中堅職員研修	採用 5 年目職員	敬仁会職員として 5 年目の中堅職員に求められる 姿を理解する。職場で求められる職員像について 評価基準をもとに理解し、実践につなげる。	25
8	20	リスクマネジメント 研修	リスク委員など伝達可能な職員	リスクの活用・分析理解	39
8	23	新人研修 D-2 新人研修 B-2	H24.11.2～H25.3.20 採用者 H25.3.22～H25.6 採用者	・職員ディスカッション ・コミュニケーションスキル	25
9	10	主任研修	主任	・講義:「職場におけるチームワーク」 演習:「職場活性化自己診断」 ・「職場活性化取組み」進捗評価、及び今後に向け て	9
9	17	障害専門研修	全職員	障がい者の理解のために	61
9	18	障害専門研修	障がい者施設職員	「身近にある不適切な支援を考える」	21

月	日	研修名	対象職種	研修内容	参加者数
9	26	ISO 研修会	内部監査員	外部講師 ・内部監査員の資質を継続的に向上する。 ・内部監査、サーベイランスの情報を共有し、ISO の理解・知識を深める。	82
9	26	人権研修	全職員	外部講師	189
10	1	新人研修 A-2	H25 年度定期採用者	チームでのコミュニケーション チームでの課題解決計画作成	18
10	4	コンプライアンス研修	係長以上もしくは講師として伝達可能な職員	法令遵守	8
10	5	障害専門研修	サービス管理責任者及び伝達可能な職員	就労支援のためのチェックリストを学ぶ	15
10	25	新人研修 B-2 (東京)	H25 年度定期採用者	・職員ディスカッション ・コミュニケーションスキル	14
11	6	新人職員 C-1	H25.7～H25.10 採用者	法人理念と沿革、福祉施設従事者としての基本、敬仁会就業規則、ISO マニュアル、報告・連絡・相談 (DVD)、就業規則	22
11	17	研究発表会	敬仁会・仁厚会全職員	各施設の日ごろの研究報告を行う	196
11	29	新人研修B-3 (東京)		・チームでのコミュニケーション ・チームでの課題解決計画作成	12
12	5	新人研修 C-2	H25.7～H25.10 採用者	・職員ディスカッション ・コミュニケーションスキル	21
12	10	認知症ケア研修	認知症実践研修未受講者	認知症高齢者が一人の人間として尊厳ある生活を送れるよう、必要とされる知識・技術を習得。	25
12	17	管理職者研修	係長・課長・次長	人を管理する立場にある職員として、労務管理について理解を深め、安全な環境で働きやすい職場をめざす。	41
12	17	人事考課者研修	人事考課者	人事考課者間における評価基準のすりあわせ	77
1	14	新人職員 C-3	H25.7～H25.10 新人職員	・ISO の取り組み ・チームでのコミュニケーション ・チームでの課題解決計画作成	20
2	5	介護福祉士実技試験対策研修	介護福祉士受験希望者	介護技術講習	15
2	5 7	階層別初級クラス研修(後期)	平成 24 年度 新人研修参加者	・職場の問題解決の実践 ・演習(事故・是正) ・演習(私の 2 年目の課題)	58
2	21	メンタルヘルス研修	全職員	福祉職員のメンタルヘルス	48
		合 計			1498

⑥ 平成25年度 敬仁会・仁厚会 施設研究発表会について

- 1 目的
 - ・職員の日々の実践を研究し、成果をまとめる能力を高める。
 - ・発表の場を設け、職員のプレゼンテーション能力向上を図る。
 - ・仕事に対する意欲・専門能力を高める。
 - ・外部へも案内し、法人の有する機能を地域へ還元する。
- 2 日時 平成25年11月17日(日) 9:00~13:00
- 3 会場 アゼリアホール(大・小ホール)
- 4 発表分野 認知症ケア、リスク管理、医療・リハビリ、効果的支援への取り組み
地域での取り組み
- 5 発表方法 パワーポイントは10枚以内
演題の発表時間は発表7分
- 6 外部来場者からのアンケートコメント
 - ・事例があってとても分かりやすかったです。とても勉強になりました。こういった機会が今までなく、新鮮な気持ちでした。
 - ・学習の中で発表会の練習をすることもあり、実際の場に参加させていただくことは大きな学びとなりました。認知症ケア(BPSDの出現)について、学習でも学んでいたこともあり実例を知る中でその人に合った支援の大切さを知ることができました。参加させていただきありがとうございました。
 - ・グループホームでの実習の際、入浴の拒否が見られる利用者の方への声掛けに様々な工夫をされていました。「マグノリア」さんでの取り組みですがそういった背景を浮かべながら聴かせていただきました。改めて生活歴を知った上での声掛けや来所時からの関わり方、入浴の時間帯を変える等で拒否なく入っていただける取り組みを行う大切さを感じました。その他にも興味深い事例研究でとても勉強になりました。本日はありがとうございました。

平成 25 年度 研究発表会 発表題目一覧

順	分野	施 設 名	発表タイトル	ポスターセッション	
1	認知症 ケア	マグノリア	認知症になっても自宅で生活できるために～入浴率100%を目指して～	入院分析の取り組み	
2		ガーデンハウスよどえ	介護者が引き起こすBPSD～「その人を知る」ことから始まる支援		
3	医療・ リハ	ル・サンテリオン東郷	お口から健康に		
4		ル・サンテリオン	短期集中リハビリの取り組みとその後～多職種との連携の重要性～	くもん学習療法の取り組み ～認知症短期集中リハビリに適用して～	
5		ル・ソラリオン	経管栄養のより良い提供を目指して ～バッグタイプへの移行を通して～	ビールを飲もう	
6	地域で の取り 組み	ル・ソラリオン名和	その人らしく生きる為に	ソラリオン名和での介護予防の 取り組み『元気道場を通して』	
7		ゆりはま大平園	地域移行の実現に向けて		
8	効果的 支援へ の取 り組 み	よなご大平園	What she should do.～明るい未来に向かって～	統一した支援を行ったことによる成果	
9		敬仁会館	統一したチームケアをめざして	仲間とのボランティア活動を通して	
10		ババール園	遊びからはじめる食育	「年長児の生活習慣の実態」について	
11		よどえババール園	乳児の発達と環境		
12		ル・ソラリオン西新井	快適な排泄ケアを目指して	ことばのいらない認知症ケア	
13		シルバー倉吉	日中のオムツはずしへの取り組み	軽作業等の役割をもっていただく	
14		ル・サンテリオン鹿野	皮膚の保清効果について		
15		ル・ソラリオン葛飾	レクリエーションがもたらす効果		
16		ル・サンテリオン北条	ケアプランとケアが連動できる記録をめざして	他職種協働による安全な食事提供	
17		ル・サンテリオンよどえ	在宅強化型老健移行への取り組みと今後の課題～復帰率20%から60%へ～		

2) その他の取り組み

① 介護職員等による喀痰吸引等研修事業

従来より施設ご利用者の痰の吸引及び経管栄養対応（以下、喀痰吸引等）は医行為に該当し、法により医師・看護師等のみ対応が可能とされていました。しかし、現実的に医師・看護師等のみでご利用者の喀痰吸引等を対応することは難しく、厚生労働省通知に基づき、特定研修（14 時間）を修了した介護職員等は喀痰吸引等業務（一定要件下）の実施を経過措置的に認められていました。

平成 24 年 4 月、「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正により研修体系が見直され、「介護職員等による喀痰吸引等研修（基礎研修 50 時間+実地研修）」が制定され、同研修を修了した介護職員等は法に基づき喀痰吸引等業務を実施できることとなりました。

当法人は鳥取県より当該研修の実施主体として委託を受けており、年 1 回の実施を行っています。また、鳥取県委託以外にも法人独自にて同研修を年 2 回実施し、県内介護職員等の資質向上に寄与しています。

受講者数

	実施期間			修了者数
法人実施（上期）	H25.5.12	～	H26.3.7	30 名
県委託	H25.10.3	～	H26.3.8	52 名
法人実施（下期）	H25.9.8	～	H26.3.7	32 名

② 認知症介護実践者研修等委託業務

認知症高齢者は今後も増加が見込まれており、認知症に関する専門知識・技術の伴った介護が必要とされています。そのため、当法人は鳥取県から委託を受け、認知症介護における実践的研修、認知症介護事業所管理者を対象とした研修を実施しています。

受講者数

	実施期間	修了者数
認知症介護実践者研修	東部：平成 25.5.27～31 西部：平成 25.6.10.～14. 中部：平成 25.6.24.～28.	206 名
認知症介護実践リーダー研修	1 回目：平成 25.7.22～7.26. 2 回目：平成 25.10.7～10.11	59 名
認知症対応型サービス事業開設者研修	平成 25.9.9	17 名
認知症対応型サービス事業管理者研修	平成 25.9.10.～11.	88 名
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	平成 25.9.12.～13.	55 名

5. リスクマネジメントへの取り組み

1) 福祉サービス苦情解決委員会（年2回実施 6月、11月）

当法人では、福祉サービスに対する苦情を適切に解決することにより、ご利用者、ご家族の満足感や信頼度を向上させることを目的として、同委員会を設置しています。

報告件数

	平成25年6月27日 開催	平成25年11月6日 開催
【A】 職員の接遇等（言動）	19 件	10 件
【B】 サービスの質や量等	14 件	16 件
【C】 利用料請求等 事務処理	2 件	3 件
【D】 説明・情報提供等	10 件	13 件
【E】 被害・損害等	4 件	2 件
【F】 権利侵害等	5 件	0 件
【G】 金銭管理等（預り金など）	1 件	0 件
【H】 施設・設備等	0 件	1 件
【I】 その他	3 件	3 件
合計件数	58 件	48 件

2) 事故・ヒヤリハット件数

当法人では介護事故及び事故に繋がる可能性のある要因を精査・分析し、再発防止に取り組んでいます。

①施設別

施設名	ヒヤリハット件数	事故件数
マグノリア	471 件	6 件
ル・ソラリオン	627 件	7 件
ル・ソラリオン名和	479 件	9 件
ル・ソラリオン葛飾	789 件	28 件
ル・ソラリオン西新井	548 件	16 件
ル・サンテリオン	499 件	7 件
ル・サンテリオン東郷	805 件	8 件
敬仁会館	274 件	6 件
ゆりはま大平園	235 件	10 件
よなご大平園	122 件	5 件
ハバール園	159 件	2 件
シルバー倉吉	125 件	0 件
合 計	5133 件	104 件

②レベル別

項 目		件 数
ヒヤリハット	レベル0	3269 件
	レベル1	1436 件
	レベル2	428 件
ヒヤリハット合計数		5133 件
事故	レベル3	103 件
	レベル4	0 件
	レベル5	1 件
事故合計数		104 件

※事故レベル分類基準

区分	レベル	分類内容
ヒヤリハット	レベル0	☐ 事故が起こりそうな環境に前もって気づいた場合 ☐ 間違っただけで、利用者に実施される前に気づいた場合 ☐ 不測の事態が発生したが、利用者には変化がなかった場合
	レベル1	☐ 不測の事態が発生し、一般的な観察が必要になったが、治療を要しなかった場合
	レベル2	☐ 不測の事態が発生し、軽微な処置(消毒、湿布、鎮痛剤投与)を行った場合 ☐ 不測の事態が発生し、持続的な観察(24時間)・安全確認のための検査が必要になったが、治療を要しなかった場合
事故	レベル3	☐ 事故のため、医療機関で継続的な治療が必要になった場合
	レベル4	☐ 事故により、障がいが残った場合
	レベル5	☐ 事故が死因になった場合

6. 職員の状況

1) 採用・退職の状況(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

① 平成25年度採用者人数

	介護職員 支援員	看護師	保育士	療法士 機能訓練 指導員	その他職種	合計
鳥取施設	55 名	8 名	3 名	5 名	25 名	96 名
東京施設	30 名	7 名	—	1 名	8 名	46 名

② 平成25年度退職者数及び離職率

	退職者	退職率
鳥取施設	84 名	13.0%
東京施設	43 名	18.1%

2) 表彰受賞者一覧

平成 25 年度における法人外団体からの表彰一覧は以下の通りです。

表彰名	受賞者数
平成 25 年度社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰	1 名
平成 25 年度保育事業従事者に対する厚生労働大臣表彰	1 名
平成 25 年度全国社会福祉協議会会長表彰	1 名
平成 25 年度全国老人福祉施設協議会表彰（20 年表彰）	1 名
平成 25 年度社会福祉功労者に対する鳥取県知事表彰	2 名
平成 25 年度中国地区老人福祉施設協議会表彰	2 名
平成 25 年度鳥取県老人福祉施設協議会会長表彰	6 名
平成 25 年度鳥取県知的障害者福祉協会代議員会における永年勤続表彰	1 名
第 55 回倉吉市社会福祉大会における倉吉市社会福祉協議会会長表彰	2 名

3) 外部役職就任状況

氏名	施設	役職	団体名	役職
藤井啓子	ル・ソリアカ	理事長	鳥取県民間社会福祉施設職員共済会 運営委員会	委員
矢間やすみ	ル・サテリカ	施設長	鳥取県介護支援専門員支援会議	委員・小委員
//	//	//	認知症介護指導者ネットワーク鳥取県支部	副支部長
//	//	//	鳥取県中部地域歯科保健推進協議会	委員
福田壮吾	ル・サテリカ 東郷	施設長	鳥取中部ふるさと広域連合認定審査会	委員
//	//	//	湯梨浜町介護保険事業計画・高齢者福祉計画 推進委員会	委員長
//	//	//	湯梨浜町地域包括支援センター運営協議会	委員
平田雅人	敬仁会館	施設長	（財）日本知的障害者福祉協会日中活動 支援部会	委員
//	//	//	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会福祉 サービス運営適正化委員会	委員
//	//	//	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会	評議員
//	//	//	鳥取中部ふるさと広域連合認定審査会	委員
//	//	//	福祉の店ふらっぴ 21	副会長
//	//	//	一般社団法人鳥取県社会福祉士会	副会長
//	//	//	中部圏域障がい者地域自立支援協議会	委員
//	//	//	鳥取県知的障害者福祉協会	理事
//	//	//	鳥取県手をつなぐ育成会保護者互助会 運営委員会	委員
岡本登志夫	ゆりはま 大平園	施設長	社会福祉法人湯梨浜町社会福祉協議会	評議員

氏 名	施設	役職	団体名	役職
//	//	//	全国救護施設協議会	調査・研修・研究委員
//	//	//	鳥取県社会福祉・保健サービス評価推進委員会	委員
//	//	//	中国・四国地区救護施設協議会	理事
瀬尾津喜恵	ル・ソリア 名和	施設長	鳥取県福祉保健部指定管理候補者審査委員会	委員
古志賢次	よなご大平園	施設長	米子市人権・同和教育推進協議会	理事
渡邊壽賀子	湘パ - 倉吉	施設長	鳥取中部ふるさと広域連合認定審査会	委員
//	//	//	鳥取県中部福祉事務所老人ホーム入所調整委員会	入所調整委員
//	//	//	倉吉市福祉事務所老人ホーム入所判定委員会	委員
増尾孝康	ル・ソリア	副施設長	鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会	委員
福井由香里	ル・サンティア	次長	鳥取中部ふるさと広域連合認定審査会	委員
//	//	//	鳥取県作業療法士会	理事
森本勤子	マグノリア(GH)	課長	鳥取県介護支援専門員	理事
//	//	//	鳥取県介護保険審査会	委員
梶本由香	ル・サンティア	課長	鳥取県介護福祉士会	理事
佐々木政治	ル・ソリア 名和	課長	鳥取県老人福祉施設協議会 21 世紀委員会	副委員長
増田江美	ル・サンティア 東郷	課長	湯梨浜町高齢者及障がい者虐待防止ネットワーク会議	会長
松本順子	よなご大平園	課長	鳥取県知的障害者福祉協会	理事
//	//	//	中国・四国地区救護施設協議会	調査・研修・研究委員
長谷川真由美	マグノリア(GH)	看護師	鳥取短期大学	常任理事
//	//	//	(財)介護労働安定センター介護人材育成コンサルタント	-
//	//	//	鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会・障害者自立支援審査会	委員
//	//	//	鳥取県男女共同参画センター運営協議会	委員
//	//	//	鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会	委員
//	//	//	鳥取県福祉サービス評価（第三者評価及び地域密着型評価）	調査委員

7. 地域貢献活動等

1) ボランティア受け入れ

当法人では定期的にお越しいただく定例ボランティア、随時お越しいただくボランティアの他、ボ

ランティア体験・施設実習を受け入れ、地域交流を積極的に推進しています。

施設名	定例ボランティア	ボランティア	ボランティア体験	施設見学	実習受入
マグノリア	1114 名	242 名	18 名	175 名	36 名
ル・ソラリオン	182 名	7 名	6 名		16 名
ル・ソラリオン名和	399 名	2 名	3 名		11 名
ル・ソラリオン葛飾	149 名	21 名	102 名		6 名
ル・ソラリオン西新井	189 名	24 名	2 名		90 名
ル・サンテリオン	67 名	33 名	14 名		36 名
ル・サンテリオン東郷	131 名	136 名	7 名		45 名
敬仁会館	53 名	32 名	6 名		7 名
ゆりはま大平園	330 名		3 名		25 名
よなご大平園	414 名	75 名	97 名		103 名
ババール園	109 名	101 名	9 名		20 名
シルバー倉吉	122 名				
合計	3,259 名	673 名	267 名	175 名	395 名

2) 利用者負担減免実績等

当法人では低所得者で特に生計が困難である方に対し、介護保険サービスの利用に係る利用者負担金の減免を実施しています。

① 社会福祉法人減免

	事業数	減免額	補助金額	実質減免額合計
特別養護老人ホーム	4 事業	2,707,738 円	1,117,247 円	1,590,491 円
在宅サービス	8 事業	1,091,036 円	329,191 円	761,845 円
小 計	12 事業	3,798,774 円	1,446,438 円	2,352,336 円

② 無料低額診療による低所得者への減免（介護老人保健施設）

	ル・サンテリオ	ル・サンテリオ東郷	減免額合計
減免額	3,763,973 円	2,933,884 円	6,697,857 円

③ サービス付高齢者向け住宅の低所得者への減免

減免額
864,100 円

④ 地域活動等への寄附及び支援

寄附金及び支援金
732,470 円

⑤ 合計

減免額	補助金額	実質減免額合計
12,093,201 円	1,446,438 円	10,646,763 円

3) 市町村委託事業関係

各市町村からの委託事業を積極的に受け、地域福祉の推進に努めています。

◆マグノリア

- ・地域包括支援センターマグノリア 介護予防教室の取り組み（平成25年度実績）

No.	日時	地区名	介護予防教室名	講師	場所	参加人数
1	4月11日	西郷	伊木長生会介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	伊木自治公民館	22
2	4月23日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	鳥取大学医学部保健学科生体制御学教授 浦上克哉教授	津原自治公民館	10
3	4月26日	灘手	老人クラブ総会	マグノリア地域包括支援センター職員	グリーンズコーレ関金荘	36
4	5月14日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	30
5	5月21日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	鳥取大学医学部保健学科生体制御学教授 浦上克哉教授	八屋自治公民館	29
6	5月23日	その他	認知症サポーター養成講座	マグノリア地域包括支援センター職員	マグノリア交流ホール	48
7	6月6日	上井	上井地区介護予防教室 ～元気でいきいき身体作り～	マグノリア地域包括支援センター職員	上井公民館	14
8	6月8日	灘手	灘手地区介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	灘手公民館	15
9	6月12日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	マグノリア地域包括支援センター職員	津原自治公民館	6
10	6月14日	西郷	山根茶屋介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	山根茶屋自治公民館	11
11	6月25日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	23
12	7月12日	灘手	灘手小学校とマグノリアグループホームの交流会	マグノリア地域包括支援センター職員	マグノリア交流ホール	10
13	7月17日	灘手	灘手地区介護予防教室	地域ケアセンターマグノリア 管理栄養士	灘手公民館	14
14	8月6日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	23
15	8月7日	上井	認知症サポーター養成講座 (鳥取短期大学国際文化交流学科有志)	マグノリア地域包括支援センター職員	マグノリア交流ホール	7
16	8月7日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	マグノリア地域包括支援センター職員	津原自治公民館	10
17	8月16日	上井	認知症サポーター養成講座 (鳥取短期大学国際文化交流学科有志)	マグノリア地域包括支援センター職員	マグノリア交流ホール	4
18	8月25日	西郷	山根町内学習会	マグノリア地域包括支援センター職員	山根自治公民館	31
19	8月27日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	20
20	9月6日	西郷	健康いきいき元気教室	マグノリア地域包括支援センター職員	山根茶屋自治公民館	10
21	9月13日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	マグノリア地域包括支援センター職員	津原自治公民館	10
22	9月14日	西郷	伊木町内学習会	マグノリア地域包括支援センター職員	伊木自治公民館	35
23	9月21日	西郷	伊木町内学習会	マグノリア地域包括支援センター職員	伊木自治公民館	31
24	9月28日	灘手	灘手地区介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	灘手公民館	10
25	10月8日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	27
26	10月28日	西郷	山根茶屋介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	山根茶屋自治公民館	10
27	10月29日	西郷	八屋ひまわりサロンⅤ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	27
28	11月10日	上井	健康セミナー 認知症の予防と家族の関わり方	マグノリア地域包括支援センター職員	海田西町・河北町自治公民館	13
29	11月14日	上井	上井地区介護予防教室 ～元気でいきいき身体作り～	倉吉体育文化会館職員	上井公民館	13
30	11月16日	灘手	灘手地区介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	灘手公民館	10
31	11月17日	上井	福庭介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	福庭自治公民館	12
32	11月18日	灘手	鋤サロ介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	鋤集会場	7
33	11月20日	西郷	西郷小学校4年生総合の学習 「高齢者の理解」	マグノリア地域包括支援センター職員	西郷小学校4年生教室	43
34	11月23日	灘手	谷介護予防教室	マグノリア地域包括支援センター職員	谷自治公民館	18
35	11月25日	上井	上井1丁目西福祉懇談会	マグノリア地域包括支援センター職員	地域ケアセンターマグノリア	9
36	11月26日	西郷	八屋ひまわりサロンⅥ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	27
37	12月11日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	マグノリア地域包括支援センター職員	津原自治公民館	11
38	1月14日	西郷	八屋ひまわりサロンⅥ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	26
39	2月21日	西郷	伊木元気健やかサロン	マグノリア地域包括支援センター職員	伊木自治公民館	12
40	2月25日	西郷	八屋ひまわりサロンⅥ	マグノリア地域包括支援センター職員	八屋自治公民館	26
41	3月6日	上井	上井地区介護予防教室 ～元気でいきいき身体作り～	マグノリア地域包括支援センター職員	上井公民館	13
42	3月12日	灘手	物忘れをせんや～にする教室	マグノリア地域包括支援センター職員	津原自治公民館	12
43	3月14日	灘手	灘手小学校5年絵本教室 マグノリアグループ ホームとの交流会	マグノリア地域包括支援センター職員	マグノリア交流ホール	10
44	3月20日	灘手	灘手地区小地域ネットワーク研修会	マグノリア地域包括支援センター職員	灘手公民館	21
						806

事業名	内容	年間延べ利用人数
倉吉市配食サービス事業	倉吉市が決定した地域において、栄養バランスのとれた食事の調理・配送を実施。また、配送と合わせてご利用者の安否確認を行う。	169人

◆ル・ソラリオン名和

事業名	内容	年間延べ利用人数
大山町二次予防事業 (元気アップ教室)	大山町からの委託事業で、介護保険適用外の方を対象に週2回、ストレッチ体操・栄養指導等を実施。	169人

◆ル・サンテリオン東郷

事業名	内容	年間延べ利用人数
湯梨浜町筋トレ事業	毎週水曜日、筋力トレーニング利用を受け入れ。	266人
ボランティア体験事業	鳥取県社会福祉協議会からの委託。 夏休みの3日間、ボランティアを受け入れ。	6人
福祉体験学習	湯梨浜町社会福祉協議会からの委託。 夏休みに3日間程度、福祉職場における体験学習を受け入れ。	9人

◆敬仁会館

事業名	内容	年間延べ利用人数
日中一時支援事業	障がい児者に対して日中における活動の場を提供し、障がい児者の家族の就労支援及び障がい児者を日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するために、必要な支援等の提供。	倉吉市 167人 湯梨浜町 1人 琴浦町 0人 鳥取市 0人 北栄町 0人

◆よなご大平園

事業名	内容	年間延べ利用人数
日中一時支援事業	障がい児者に対して日中における活動の場を提供し、障がい児者の家族の就労支援及び障がい児者を日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するために、必要な支援等の提供。	米子市 2,457人 境港市 1人 大山町 563人 境港市 87人 伯耆町 1人 南部町 178人 江府町 20人 日野町 50人 日吉津村 71人

◆ババール園

事業名	内容	年間延べ利用人数
延長保育事業	倉吉市からの委託事業。保護者の就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応。	1時間延長 2,801人 2時間延長 329人
休日保育事業	倉吉市からの委託事業。保護者の就労形態の多様化により、日曜・祝日における保育需要に対応。	328名(うち、1名は私的利用者)
一時預かり事業	倉吉市からの委託事業。一時的に家庭での保育が困難となった場合に対応。また、保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援として対応。	144名(うち、83名は私的利用者)
病児保育事業	倉吉市からの委託事業。病気の児童を一時的に保育することで、保護者の子育てと就労の両立を支援。(鳥取県立厚生病院内地域医療連携棟1階「病児保育室 きらきら園」)	318名

◆シルバー倉吉

事業名	内容	年間延べ利用人数
生活管理指導短期宿泊事業	倉吉市からの委託事業。	14名
生活管理指導短期宿泊事業	北栄町からの委託事業	0名
生活管理指導短期宿泊事業	湯梨浜町からの委託事業。	0名

4) その他 施設の取り組み

◆マグノリア

取組内容	内容	参加者等	実施日等
夏祭りの実施	地域住民との交流	地域住民	H25.8.21
認知症懇談会（ぽっかぽかの会）を開催	地域住民、行政を対象として定期的開催	ご家族59名	年8回
地域のリサイクル活動への協力支援	施設に集められた段ボールを業者に回収してもらう	グループホーム ご利用者 2名 職員 1名	年2回
救急法講習会	地域住民を対象とした講習会を開催	職員、地域住民	H25.9.17,19,21
施設広報誌の配布	施設広報誌を地域住民へ配布	35部	毎月
水害発生時における一時避難場所に関する協定を締結	地域と「水害発生時における一時避難場所に関する協定」を締結	—	—
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定人数： 4名	—
災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定を倉吉市と締結	—	—

◆ル・ソラリオン

項目	内容	参加者等	実施日等
家族介護者教室の開催	介護に携わられるご家族を対象に、介護教室を開催	42名（内、10名は地域の方）	H25.7.28
広報誌を地域へ配布	山根地区に200部配布	—	1月、4月、7月、10月発行
地元公民館活動への職員ボランティア参加	清掃作業	3名	H25.5.19
	秋祭り	3名	H25.10.20
	石焼き芋販売	2名	H25.10.27
専門学校生との交流	専門学校学校祭へ参加し、福祉職場について紹介	職員2名	H25.10.26
中学校からの介護体験依頼の受入	地域の中学校からの依頼により、学生の介護職場体験を受け入れ	6名 4名	H25.10.25 H25.10.29、30
高校生のボランティア活動体験受入	地域の高等学校からの依頼により、学生のボランティア活動体験を受け入れ	高校生16名	H25.11.13
福祉職場紹介	地域の高等学校学園祭へ参加し、福祉職場紹介を実施	職員4名	H25.10.19
交通安全啓発運動	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番を行い、事故防止啓発活動を行っている	施設役職者	年4回
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定数 20名	—
災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定を倉吉市、湯梨浜町と締結	—	倉吉市：H25.11.26 湯梨浜：H25.4.10

◆ル・ソラリオン名和

項目	内容	参加者等	実施日等
心と体の健康のつどい	地域住民、ご利用者、ご家族を招き、介護予防教室及び茶話会を開催。	地元住民、ご利用者、ご家族	H25.11.14
ケアケア交流会	地域で介護に携わっておられるご家族をお招きし、情報交換の場を提供。	ご家族	2ヶ月に1回
施設内行事への招待	地域の保育所園児を夏まつり、そうめん流し等にお招きし、地域交流を実施。	地元保育所園児等	H25.7.27 H25.8.6
中学生職場体験受入	地域の中学校より、職場体験依頼があり受け入れ実施。	4名	H25.7.1～ H25.7.5
地域イベントへの積極的参加	みなとまつり	職員 10 名	H25.5.12
	名和マラソン大会ウォーキングの部へ、ご利用者と職員にて参加	ご利用者・職員 10 名	H25.5.19
	西坪まつりにて健康相談・施設利用相談等を実施。	職員 3 名	H25.11.1
施設の開放	会議室等を無料開放し、地域の方に利用いただいている。	臨床美術体験他	—
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定数 8 名	—
災害時における要援護者の一時避難に関する協定締結	災害時における要援護者の一時避難に関する協定を大山町と締結	—	H25.3.25

◆ル・ソラリオン葛飾

項目	内容	参加者等	実施日等
介護予防教室（ソラ葛安心介護塾）の開催	地域住民対象に「転倒予防」・「減塩の工夫」・「口腔ケア」・「認知症について」の介護教室開催	毎回 30 名程度	年 4 回
地域交流ホールの開放	地域交流ホールを無料開放し、地域の団体等に利用いただいている	保育園父母の会・町会・ダンスグループ他	6 団体、 年 45 回利用あり
保育園児交流会	地域の保育園児との交流行事を実施	地元保育園(2 か所)	年間 11 回
福祉体験交流会	地域の小学生を招き、福祉体験の含めた交流行事を実施	95 名	H25.12.17
小学生ボランティア受け入れ	施設内行事（喫茶等）の際、地域の小学生によるボランティアを受け入れ	7 名	年 3 回
中学生職場体験受入れ	地域の中学校より依頼があり、学生の福祉職場体験を受け入れ	地域の中学校（3 か所）、ボランティア 10 名	H25.9、H26.1、 H26.3
特別支援学校実習生受け入れ	葛飾特別支援学校より学生の職場実習を受け入れ	1 名	H25.10.21～ H25.11.1
地域の児童養護施設との交流	地域の児童養護施設によるクリスマス発表会の演芸披露	30 名	H25.12.10
地域大学の施設実習受入れ	東京清栄大学より実習生の受入れ（管理栄養士）	2 名	3 週間
介護支援サポーター受入れ	葛飾区ボランティアセンター登録の介護支援サポーター受入れ	22 名	年間
ボランティアセンター主催のボランティアスタート体験	ボランティア実地研修の受入れ	2 名	H25.11.26
介護相談員受入れ	サービス向上のため、介護相談員派遣事業による相談員を受け入れ	特養 1 名、ケアハウス 1 名、デイサービス 1 名	毎月受入
地域納涼祭、盆踊りへの参加	町会の納涼祭、盆踊り大会に参加	10 名	H25.7～8 月

花火大会開催日における屋上一般開放	葛飾区花火大会にて屋上を地域の方へ開放	200 名	H25.7.22
災害時における相互協定締結	災害時における被災住民の受け入れ等に関する相互応援協定を葛飾区と締結	—	H25.6.7

◆ル・ソラリオン西新井

項目	内容	参加者等	実施日等
介護予防教室開催	地域住民に対し介護予防教室を開催	毎回 30 名程度	8月、9月、10月、12月、3月の第1月曜日
自治会主催のお茶会への参加	自治会の住民の方と軽食を取ながらカラオケやゲーム、おしゃべりを楽しみ交流を深めている	毎回 5～6 名程度	年4回 6月、9月、11月、2月の第1日曜日
地域住民による定例ボランティアの受入	三味線・生け花・ギター・クレイクラフト・ちぎり絵・美容サロン等、各団体を受け入れ	地域住民	各毎月1～2回
高校生ボランティアの受入	施設行事（夏祭り）にて地元高校生のボランティアを受け入れ	地元高校生	H25.8.10
演奏会の開催	多目的ホールにて演奏会を開催	地域住民	H25.8.16、H26.3.9
施設内行事への地域住民招待	夏祭り、敬老会等開催	地域住民	夏祭り H25.8.10 敬老会 H25.9.21
近隣施設との職員の交換実習	課題をもって実習に臨み交流を図っている	4名 2名	H25.6.5、6 H25.12.5
地元高校生の職場体験実習	「高齢者と関わって生きる」の学習の一環として特に福祉用具等の機器類と生活リハビリについて学び高齢者や施設に対しての理解を深める	毎回15名	年6回 H25.6.17、6.24、10.7、10.21、11.11、11.18
地域主催の防災訓練への参加	ご利用者と一緒に参加し地震体験や炊き出し、消火訓練等地域住民と災害対策について考える	6名	H25.9.22
施設主催の防災訓練への地域住民の参加	地域住民の方へ施設が主催する防災訓練への参加を依頼	6名	H25.7.30、H26.2.25
施設広報誌の配布	施設広報誌を地域、地元高校へ配布	146部配布	毎月実施

◆ル・サンテリオン

項目	内容	参加者等	実施日等
地域交流スペースの一般開放	地域交流スペースを地域の方へ無料開放している	地域住民	随時
認知症ケア懇話会開催	地域住民、専門職を対象とした定期的な認知症ケア懇話会開催	地域住民・専門職	年4回 4月、6月、8月、10月
交通安全啓発運動	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番を行い、事故防止啓発活動を行っている	施設役職者	年4回
職場体験の受入	地域の中学校より福祉職場体験を受け入れ、福祉職場の理解を図る	地域の中学生10名	H25.10.25
介護の日の介護相談	地域住民100名にアンケート実施	地域住民100名にアンケート実施。	H25.11.12
リハビリ体験教室	地域住民を招待して健康教室開催	地域住民	H26.3.8
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定数10名	—
災害時等における要援護者の緊急受け入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受け入れ協定を倉吉市、湯梨浜町と締結	—	倉吉市：H25.11.26 湯梨浜：H25.4.10

◆ル・サンテリオン東郷

項目	内容	参加者等	実施日等
地域交流スペースの一般開放	地域住民に向けて地域交流スペースを一般開放しており、団体からの利用希望あり	地域団体	2回
知って得するサンQ会	地域住民を対象とし、専門職からの知識・技術伝達の機会を設定	地域住民31人	H25.8.22 H25.11.15 H26.3.7
交通安全啓発運動	各交通安全運動期間中、歩道沿いにて立ち番を行い、中高生の安全を補佐	職員	年4回
地域の清掃活動	地域清掃活動（アダプトプログラム）に参加。施設の敷地を含む道路の清掃、除草作業を実施	職員	毎月1回
各職場実習生受け入れ	地域短期大学、福祉専門学校、介護労働安定センター等より職場実習を受け入れ	295人	年18回
夏祭り	野花区住民を招待	地域住民	H25.7.27
秋の作品展	ご利用者の作品を中央公民館で展示	ご利用者	H25.11.6～13
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定人数11名	—
災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定を湯梨浜町と締結	—	H25.4.10

◆敬仁会館

項目	内容	参加者等	実施日等
敬仁会館まつり実施	事業所を開放し、利用者、家族、地域の方々が親睦、交流の場をもつ	ボランティア、家族40名参加	H25.11.9
地域奉仕作業	上井地区清掃美化奉仕作業に参加	利用者17名、職員4名	H25.10.14
倉吉市ごみゼロ全市一斉清掃	倉吉市（行政）主催の清掃作業に参加	利用者7名、職員1名	H25.10.20
あげい祭準備協力及び祭り参加	上井町（自治会）主催のあげい祭に参加	利用者40名、職員10名	H25.11.2
地域のゴミ拾い実施	事業所活動の一環で地域のゴミ拾いを実施	延べ利用者29名、職員3名	H25.5.16、 H25.9.17、 H25.12.16
事業所備品を地域の公民館、保育所等に貸出	事業所備品を地域の公民館、保育所等に貸出（かき氷機、提灯、やきそば鉄板）	4団体	H25.7.26、 H25.8.13、 H25.8.14、 H25.10.4
交通安全啓発運動	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番を行い、事故防止啓発活動を行っている	施設役職者	年4回
あいサポート運動研修会へ職員を派遣	あいサポート運動に関する研修会に、あいサポートメッセンジャーとして職員を派遣	職員4名	H25.8.5 H25.1.20
スペシャルオリンピックス日本・鳥取への協力	スペシャルオリンピックス日本・鳥取の倉吉地区活動の運営協力	延べ職員30名	卓球プログラム 練習月2回
災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定を倉吉市、湯梨浜町と締結	—	倉吉市：H25.11.26 湯梨浜：H25.4.10

◆ゆりはま大平園

項目	内容	参加者等	実施日等
施設体育館の開放	施設体育館を開放し、地域の方々に利用いただいている	法人外利用 613 件	年間
感謝祭の開催	地域団体と協働にて施設感謝祭を開催	約 1,000 名 約 1,000 名	H25. 4.29 H25.11.24
地域の清掃活動	地域清掃活動（アダプトプログラム）に参加。施設の敷地を含む道路の清掃、除草作業を実施	39 名 22 名	H25. 4.29 H25.11.24
健康教室の開催	地域住民を対象に管理栄養士、看護師、法人の PT による講義や健康測定、体操紹介などを開催	13 名	H25.12.10
福祉ボランティア受入	地域の小学校、中学校より、福祉職場ボランティアの体験希望あり。	1 名	H25.8
施設実習受入	看護学生、福祉専門学校学生の施設実習を受け入れ	延 25 名	H25.5～11
地域保育所との交流行事	年 2 回、地域の保育園児（2 か所）とレクリエーション、お菓子作り等による交流行事を開催	32 名 20 名	H25.5.23 H25.10.29
陶芸教室の開催	陶芸教室を通じ、子ども会や高齢者との地域交流活動を実施	延 162 名	件数 12 件
災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定を湯梨浜町と締結	—	H25.4.10

◆よなご大平園

項目	内容	参加者等	実施日等
合同夏祭り開催	地域子ども会との合同夏まつりを開催。企画から開催まで連携して行っている。	300 名程度	H25.7.27
地域交流行事（Good フェスティバル）開催	地域交流行事（Good フェスティバル）を開催し、地域の方のイベント参加・屋台出店、養護学校生徒の作品展示を行い、地域交流を図っている。	800 名程度	H25.11.9
クリーン活動の実施	年 2 回クリーン活動を実施。地域の道路等の空き缶、吸い殻拾い等を行う。	100 名	H25.6.25、 H25.10.17
地域イベントへの積極的参加	地域の祭り・文化祭において利用者の作品展示、就労支援作業での製造商品の販売、屋台出店等、積極的な参加を行っている 海岸清掃 よどえ公民館祭り	職員、ご利用者 15 名 職員 6 名	H25.11.3、4
クッキング、パン作り体験等実施	地域の子ども会とのクッキング、保育園との芋ほりやパン作り体験等を実施	職員・子ども会 20 名	H25.6.29 H26.2.22
地域住民対象研修会開催	栄養士、看護師、嘱託医による地域住民を対象とした研修会の開催	地域住民	H25.11.9
公民館としての場所提供	施設所在の自治体には公民館が無い場合、会議室を公民館として提供	子供会、地域役員会等	
テント等備品貸出	地域イベント時、テント等の備品を無料貸し出し	地域住民	年 6 回貸出
中学生職場体験受入	米子市内 3 校より、中学生の職場体験依頼あり。受け入れ対応。	延べ 12 名	H25.5
日吉津村チューリップマラソン大会参加	日吉津村チューリップマラソン大会への選手、給水ボランティアとして参加 ご利用者と共に参加	6 名	H25.4.14
災害発生時一時避難施設としての協定締結	災害発生時における一時避難施設として、米子市と協定書を締結。	—	H26.3.11

◆ババール園

項目	内容	参加者等	実施日等
地域の高齢者団体との園児交流	田植え	1名	H25.5.29
	ちまき作り	8名	H25.6.24
	七夕まつり会（白壁アカリーナによるオカリナ演奏）	8名	H25.7.6
	民話を聞く会	1名	H25.7.18
	稲刈り	1名	H25.9.20
	稲こぎ	1名	H25.10.8
	おもちつき	13名	H25.12.11
	しめ縄作り	15名	H25.12.24
	ひな祭り茶会	20名	H26.3.4
	農園活動	1名	通年
	お茶会	6名	毎月
山根地区ゴミ拾い	職員と園児が山根地区を歩いてゴミを拾う	15名	H25.9
地域の中学生との交流	河北中学校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを開催	33名	H25.12.25
学生ボランティア受入	高校生ボランティア保育体験の受入れ	6名	年2回
	中学生ボランティア保育体験の受入れ	3名	H25.8/6～8/8
実習生受入	保育実習生の受入れ	4名	年4回
	看護実習生の受入れ	16名	年3回

◆シルバー倉吉

取組内容	内容	参加者等	実施日等
地元納涼祭へ参加	焼き鳥・フランクフルトを出店、地域交流を図る	ご利用者1名 職員10名	H25.7.30
地元子ども会リサイクル活動に協力	段ボール・古新聞等収集に来られた時に、利用者・職員で車に積む。普段から倉庫に集めておく	ご利用者2名 職員	H25.6、H25.11
倉吉一斉清掃、施設近隣の公園周辺清掃	グループに分かれて施設周辺・河北第8公園を回り、捨てられたゴミを回収する	利用者5名 職員2名	H25.10.20
地元神社が開催される「秋の大祭」へ参加	玄関前にてお菓子・ジュース等を準備し、子供神輿を迎える	職員	H25.10.13
地元中学生の福祉体験学習・高校生のインターンシップ（職場体験実習）を受け入れ	地元中学生の福祉体験学習 高校生のインターンシップ（職場体験実習）	中学生6名 高校生2名	H25.10.2 H26.2.10～14
原子力災害時避難者受入施設に指定	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される	受け入れ予定人数 9名	—
家族地域の皆様を招待・交流・食事	七夕	・ボランティアグループ7名 長寿社会課3名	H26.7.23
	敬老祭	・園児 26名、園児の家族、ボランティアグループ7名、出店協力業者の方5名	H25.9.13
グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフを通じて地域の方と親睦を深める。地域の方にも施設を理解していただく。	利用者7名・地域の方16名・職員6名参加	H25.11.8

8. 実地指導・監査等状況報告

1) 実地監査等の結果

鳥取施設

	実施 事業所数	文書指摘		指導事項		共になし 事業所数
		事業所数	指摘数	事業所数	指摘数	
①介護保険実地指導	7			3	6	4
②老人福祉施設指導監査	3					3
③児童福祉行政指導監査	1			1	4	
④障害福祉サービス指導監査	5	3	5	2	4	
⑤無料低額事業指導監査	0					
⑥保護施設指導監査	2					2
合 計	18	3	5	6	14	9

東京施設

	実施 事業所数	文書指摘		指導事項		共になし 事業所数
		事業所数	指摘数	事業所数	指摘数	
①東京都福祉保健局実施監査	1					
②区実地監査	1					
合 計	2					

9. 決算報告

下記決算書類については敬仁会ホームページに公開しております。

https://www.med-wel.jp/keijin/?page_id=1052

- ① 資金収支計算書
- ② 資金収支内訳表
- ③ 事業活動計算書
- ④ 事業活動内訳表
- ⑤ 貸借対照表
- ⑥ 貸借対照表内訳表